事業報告書

楽先垂範

あたりまえのことをあたりまえ以上に

JCI

2015 年度 公益社団法人 呉青年会議所

理事長報告

理事長　田尻　康人

２０１５年度公益社団法人呉青年会議所は、「率先垂範～あたりまえのことをあたりまえ以上に～」のスローガンのもと、５つの基本方針を柱に２室５委員会２特別委員会を設け事業を展開してまいりました。

＜基本方針＞

１．人を思いやり助け合う　～子どもが困難に打ち勝つために～
２．正しいことを正しく行う　～子どもが正しく育つ環境を作るために～
３．礼儀を重んじる　～相手を敬い、絆を強固なものとするために～
４．誠実になる　～信頼に繋がる情報を発信するために～
５．やってよいことと悪いことを見極める　～さらなる向上をめざして～

世の中をみると、同じような不祥事や問題あるニュースを多く耳にします。自分の身を振り返るきっかけは、いくらでもあるのに、一向に悲しいニュースは途絶えることがありません。人として「あたりまえ」を守り生活をしていれば、防げることも多くあるのではないかと感じます。２０１５年度は、「あたりまえ」のことについて改めて考えさせられた１年でありました。
人として「あたりまえ」である、思いやりや助け合いは、人の基盤をつくるものであり、それをなくしては社会の発展もないと所信に書かせていただきました。人としての姿勢、あり方について学ぶことで、その「あたりまえ」を根付かせていくために事業を展開してまいりました。

人を思いやり助け合う　～子どもが困難に打ち勝つために～

近年、人に支えられて生活していると感じにくい時代になってきたと感じます。これからの未来を担う子供たちに人を思いやり助け合うことの必要性を感じてもらい、その気持ちの醸成の一助となる事業を７月下旬に呉市安浦町の柏島という無人島で２泊３日の体験型事業「ＢＥ　ＳＵＲＶＩＶＯＲ」を開催しました。

この事業は、２泊３日のスケジュールの全てを子供たちに任せ、安全確保のため付き添っていただいたメンバーには、子供たちの見守りに徹してもらい、口も手も出さないように徹底してもらいました。子供たちが自ら１日１日のスケジュールを考え、うまく行かず悩み、苦しむ中で、自分以外の誰かのために行動できる“思いやり”や、困っている仲間

に手を差し伸べる“助け合い”そんな気持ちの醸成を図っていきました。

開催場所の選定、事前準備と地域との調整、参加者の募集、事前説明会、事業当日、その後のフォローアップまで長期にわたる事業となりましたが、委員長、スタッフ、委員会メンバーが一丸となって取り組んでる姿に、メンバーの心を動かしたくさんの協力を得られ事業を迎えることが出来ました。結果的に事故なく無事に事業を終えることができ、参加された６４名の子供たちに“人を思いやり、助け合う”ことの必要性に気付いてもらえ、その気持ちを醸成することができた事業になったと確信しております。

正しいことを正しく行う　～子どもが正しく育つ環境を作るために～

子どもが正しく育つ環境をつくっていくのは、親であり大人であります。まずは大人が子どもたちの指針となるべく、率先して正しい行いをしていかなければなりません。そこで、子どもたちへの事業の両輪となる大人へ向けた事業、子どもが正しく育つ環境をつくるため、大人たちが正しいこととは何かを学習し、子どもたちに行動する自身の背中を見せることの必要性を理解してもらい実践する事業を展開してまいりました。

６月下旬、親子参加型の事業「大人達よ！セナカで語れ！～夢をあきらめないことを学び実践しよう～」を開催し、第１部では親御さんを対象に元プロ野球選手の桑田真澄氏をお招きし「夢をあきらめない」をテーマにご講演いただきました。この講演では、「目標を立て、その目標に向かって努力し、最後まであきらめずに取り組む」ことの重要性を野球選手としての稀有な実体験を基に持論を展開することで分かり易く講演していただきました。第２部では、その講演を聞いた親御さんとお子さんでチームを組みスポーツアトラクションにチャレンジしていただきました。各種目ごとに自分たちで目標を立て、スポーツ指導者のアドバイスを受けながら、親子で協力し工夫して、最後まであきらめず目標の達成を目指していただきました。第１部の講演で、子どもへ接するときの意識を変え、第２部で、その気づきを即行動に移すことで、自ら目標を立て、その目標に向かって努力し、最後まであきらめずに取り組む」ことを正しい大人のセナカとしてみせることで、その重要性に気づいてもらえたと確信しております。

礼儀を重んじる　～相手を敬い、絆を強固なものとするために～

明るい豊かな社会を実現するためには、我々が誰よりも礼儀を重んじる必要があります。日本歴史を知り先人を敬い感謝する中で、礼儀をについて考え学び、多くの同志、仲間が集い、多くの市民の方たちに喜んでもらえるような事業を一緒につくりあげ、喜びを分かち合えるような団体を目ざしました。

そのための事業として、講師をお呼びし、メディアの情報を読み解く力を学び、正しい歴史認識を知ることで、日本人としての誇りを持った人材の育成を行いました。

事業を通して、先人を敬い感謝し、礼儀を持ち活動できる人材が増え、明るい豊かな社会の実現を目ざし活動していくための大きな力を得たのではと感じております。

誠実になる　～信頼に繋がる情報を発信するために～

信頼を得ることはたやすいことではありません。しかし、その信頼がなければ、我々の活動も意味がないものになってしまいます。信頼を得るためには、常に誠実であり続けることがとても重要なのです。

そのため、市民の方々がいまどのように考え何を望んでいるのかを知るため、また我々の活動を知ってもらうため、みなと祭りにおいてアンケートを実施いたしました。その結果を真摯に受け止め活動を展開していくことで、誠実で丁寧な活動につなげることが出来ました。結果、ＳＮＳやＨＰだけでなくメディア等の協力も得ることができ、多くの方々に我々の活動をしっかりと周知できた１年であったと考えます。

やってよいことと悪いことを見極める　～さらなる向上をめざして～

呉のまちに向けて事業を展開していく我々自身が、人に迷惑をかけないよう、やってよいこと悪いことをしっかりと見極め活動していかなければなりません。

そのためにひとつの事業を行うのでなく、５つのあたりまえのことを『正義の５カ条』として掲げ、それを毎月メンバーが集まる例会において唱和し確認してきました。そうすることにより、メンバーに伝えるべきことがしっかりと浸透し、日常においても自身の行動を見直すきっかけになったと確信しております。

また、内部の結束をより強固なものにするために、会員同士がしっかりと交流できる場を提供しました。その結果、本物の仲間となり、お互いがお互いを正しあえる関係となりさらなる向上をめざすことができました。

最後に～あたりまえのことをあたりまえ以上に～

私が掲げた所信をもとに、各委員会のみなさまには素晴らしい事業を展開していただき、ただただ感謝しかありません。どの事業をとってもひとつとして欠けてはいけないものでした。本年度行った事業をきっかけに「あたりまえのことをあたりまえ以上に」行っていける人々が増えるものと確信しております。

また、本年度は公益社団法人日本青年会議所　中国地区協議会　中国地区コンファレンスを呉の地にて主管させていただき、全メンバー一丸となって取り組み大成功を収めましたことをここにご報告させていただきます。

１年間の限られた時間の中で事業を展開することや思いを伝えられることは限られていますが、あきらめず事業をやり続ける、また思いを伝え続けることが我々青年の使命であると思います。「あたりまえのことをあたりまえ以上に」これからも明るい豊かな社会の実現に邁進してまいります。

１年間、本当にありがとうございました。

副理事長報告

副理事長　　明神　政之

「まちづくり事業（対外事業）こそＪＣの華」青年会議所で活動しているとよく聞く言葉である。私はこれまで呉青年会議所では、主に対内・事務方の担当であった。当然私も青年会議所活動をしている以上、まちづくり事業にスタッフとして深く関わりたいという願望があったし、自分だったらという思いもあった。そのような私が２０１５年度は対外事業担当の副理事長の役を頂いた。

担当させて頂いた二つの委員会の目的はそれぞれ、「子どもたちに仲間を思いやり助け合う精神を芽生えさせ、呉を思いやりあふれるまちとしていく」「大人たちが正しいこととは何かを学習し、行動する自身のセナカを見せることで、子どもが正しく育つ環境を呉につくっていく」であった。そのためにどのような事業を行ったのか、そちらの詳細に関しては委員長報告をご参照頂きたい。

一年を終え分かったことがある。まちづくり事業それ自体が華なのではなく、呉のまちに花を咲かせることが出来るのがまちづくり事業であると。継続事業の必要性や公益法人としての事業実施のあり方に様々な意見もあるが、我々呉青年会議所が青年の情熱と感性をもって、呉のまちのことを考え、事業を打ち続け、花を咲かせ続けていくことに意味があるのだ。２０１５年度の事業が呉のまちに与えた影響はこれだけを見ると小さなものかもしれない。しかし、その思いは事業に参加した市民の心にきっと伝わり、今後新たな種をまくはずである。

最後に一年間、考え、悩み、汗を流した中西委員長、野﨑委員長をはじめとする呉元気創造室の皆様、いつも率先して協力いただいた田尻理事長をはじめとする呉青年会議所メンバーの皆様、そして私たちを助けていただいた全ての皆様へ心から感謝を申し上げ報告とさせていただきます。ありがとうございました。

副理事長報告

副理事長　折口　篤志

公益社団法人呉青年会議所の２０１５年が間もなく終わろうとしています。

年初、私は会員減少の最大の原因は景気の低迷や少子高齢化ではなく我々自身であると申しました。１年間の活動を経て原因が解決できたのかと言えば、答えは残念ながらＮＯと言わざるを得ません。

年初５６名からスタートした会員数は４名の新入会員を迎えることができたものの、退会者、卒業されたメンバーの総数を上回ることは叶わず、５０名を切るメンバーで来年のスタートを切ることとなってしまいました。

「量より質」、中身が大事であるという言葉がよく用いられます。

青年会議所活動においてもそれは大切な事ではありますが、「数は力」であることもまた事実であると考えます。

今年度、我々が呉のまちに対して展開した事業には大変多くの市民のご参加を頂くことができました。我が公益社団法人呉青年会議所の存在を多くの市民に知って頂き、参加して頂くことができましたが、我々の活動を未来の同志となるまちの青年経済人にうまく使えることができなかった原因は何なのか、また共感が頂けなかった原因は何なのか、いま一度、事実を真摯に受け止める必要があると考えます。創立から６３年、多くの先輩方より脈々と続く歴史と伝統、そして創始の理念をもう一度メンバー皆で共有し、初心に立ち返らなければなりません。

一年間の活動の中で得られた経験を次年度に引継ぎ、より精度の高い事業を展開していくことにより、多くの事業参加者を集め多くの人たちが笑顔になれる明るい豊かな社会実現を目指し、今後も活動を行って参ります。

一年間本当にありがとうございました。

専務理事報告

専務理事　神垣　良子

過ぎ去ってみれば、あっという間の１年でした。
“専務理事とは組織の要である“と、年当初のご挨拶に書かせていただきました。円滑に組織が活動していけるよう務めて参りましたが、頭で考える以上に、組織を運営していくことのむずかしさを痛感した１年でもありました。その中で、常にこころがけたのが「率先垂範」です。人に言うだけでなく、自分が率先して行動する。そうすることで伝えることが出来た部分もあったと感じています。しかし、少し厳しさという面で足りないところがあり、もう少しメリハリをつけ運営ができれば良かったと思います。様々な問題にも直面し、会議の運営や内部外部の調整において至らぬところも多々ありましたが、理事長や副理事長、事務局長に助けていただいたおかげで、専務理事としての２０１５年度を終えることができたことは、感謝にたえません。
そして、運営といった面では総務の役割がとても重要になってくるため、２０１５年度は、総務を務める正義の力向上委員会を専務ラインの直下に配置しました。直接連携をとることでとてもスムーズに運営が出来たと感じています。また、正義の力向上委員会においては、例会・会員及び家族交流で多くの事業へ常に真剣に向き合い、最初から最後まで力を抜くことはありませんでした。結果、事業への参加率を上げたことや１００％例会を３回達成するなど、組織の土台をしっかりと踏み固められたと思います。本当にきめ細やかな対応で空本委員長には素晴らしい活動をしていただきました。また、公益認定等内部審議特務機関　原特務機関長には、広島県との調整を行う中で、持ち前の明るさと固いイメージを払拭する工夫をしながらセミナーを開催してもらい、公益に対するアレルギーを軽減することが出来たと感じています。「明るい豊かな社会の実現」に向け活動していく上での、力強い味方であるのだということを充分に理解してもらえたと感じています。

大変重要な役職を受けることとなり、当初は私で務まるのかと不安ばかりでありましたが、この役職を受けなければ気付けなかったこともたくさんあり、本当にとても良い経験をさせていただきました。２０１５年度は終わりますが、呉青年会議所活動はこれで終わるわけではありません。今年経験したことを今後に活かしていけるよう、良かったところ反省すべきところをしっかりと心にとどめ、今後の活動に引き続き邁進してまいりたいと思います。
最後に、いつもそばでフォローをしてくれた神田事務局長、４名のセクレタリーに深く感謝をいたします。本当に１年間ありがとうございました。

事務局長報告

事務局長　神田　真生

事務局運営には、各種会議の資料作成や予算の管理などの様々な業務があります。２０１５年度はじめて運営に携わってみて、毎回の資料作成など大変な事もありましたが、通常の委員会では味わえない楽しさがありました。

事務局長を拝命するにあたり、年当初、無駄な所にお金は使わず、必要な所に必要な分使うといったあたりまえのことを行っていく、予算の管理や会議運営のあり方などに対して、これまで諸先輩方が培ってきた活動の理念は大切にしながら、今の時代、今の呉青年会議所に合わせて行うと掲げさせていただきました。２０１３年、公益社団法人格を取得し、今までやってきた事の中で、できなくなる事もあるのではないかという不安もありましたが、委員長の皆さまの予算組みからのご協力、専務理事、セクレタリー、内部審議機関、事務局員の皆さまのフォローもあり、ルールに則ればできなくなる事などないと勉強させていただきました。

また、「次年度以降、事務局長という役職を誰もがやってみたいものにする」という事も考えて活動してまいりました。２０１６年度、役職名こそ変更されますが同じ役をしたいと言ってくださった方がいた事を考えると達成できたのではないかと感じております。

この１年間で勉強させていただいた事、経験させていただいた事をこれから先の青年会議所活動はもちろん、様々な事に活かしてしきたいと思います。また活かすだけではなく呉青年会議所に還元できるよう努めていきたいと思います。

結びになりますが、個人的にとても充実した１年間を過ごさせていただきました。もちろん１人ではできなかった事です。出会った全ての方々に感謝致します。

室長報告

アカデミー広報室
室長　根石　剛生

呉青年会議所は次年度の組織構成が固まり静かに本年度の終わりが近づいてきています。本年度はアカデミー委員会と広報委員会をまとめる室長として活動させていただきました。

新年のご挨拶で、私が入会した当時の１００名近い会員が約半数まで減少しているという今後の会議体運営に直面する危機について触れました。

アカデミー委員会としては、仮入会員の育成と全体での会員拡大を掲げました。１５名の会員獲得目標として動き、苦戦する中では仮入会期間の費用を無料お試しにしてはどうかという話しまで出てきました。それをやる事により会員拡大に繋がるのか、今までの歴史を変えていけるのか、敷居を下げてまでやる価値があるのかという議論にまで発展しました。そこまでの熱量を持ち望んでも叶えることは出来ませんでした。会員減少の危機状況を呉青年会議所全会員に伝えることが出来ず、理事メンバーとアカデミー委員会だけの独りよがりになってしまったということが問題であったと思います。一人ひとりに意識改革を促すことが出来れば状況は変わっていたはずです。

広報委員会としては、裏方的な役割がどうしても際立ち先頭に立ち活動するイメージはありませんが、みなと祭りでは呉青年会議所についてのイメージ調査及び認知度を事業として企画立案し実際にアンケートを実施し、回答を１５００通近くも獲得して我々団体について外部から見た評価を多く知ることが出来ました。

年当初は室長という役職は委員長の分からない見えないポイントを的確に指導する立場であるというイメージで臨んでいました。実際は正副役員と委員長の中立であり、なおかつ事業の実行責任者として指導していく必要がありました。

来年はわたしの青年会議所活動最後の一年となります。今年学んだことを残るメンバーに伝え切ることが出来れば本年度の成長の証であります。一年間ありがとうございました。

『事業報告』

思いやりあふれるまち創造委員会
委員長　　中西　康二

〔スローガン〕　Ｏｎｅ　ｆｏｒ　ａｌｌ，ａｌｌ　ｆｏｒ　ｏｎｅ
～思いやりあふれるまちをめざして～

呉青年会議所の門をたたき１０年目を迎えた今年、初めての理事を拝命し希望と不安を胸に抱きながら本年度活動してまいりました。

今まで理事を経験された諸先輩方をみてきましたが、本当に私務まるのか自信ありませんでしたがとにかくがむしゃらに活動してまいりました。

私に与えられたミッションは現代の便利になった社会では伝わりにくくなった相手を思いやる気持ちを現代の子どもたちに学んでもらうことでした。どんなことをすれば今の子どもたちに伝わるのか？スタッフや委員会メンバーと会議を重ね今回の事業を企画し開催させてもらいました。

私はプライベートでよくキャンプをしていますので、設営は簡単だろうと軽く思っていましたが、場所の選定から事業内容まで様々な問題が起こり、その都度色々な人達に出会い助けていただきながら準備をしていきました。

自分では１０年間なんとなくＪＣ生活をすごしてきたつもりでしたが、様々な場面で今までの経験や人とのつながりが大きな力を発揮してくれていました。

今回の事業は無人島という場所もそうですが、こちら側から一切指示をしない参加者の子どもたちに考え行動をまかせるといったあまり我々には実績のない事業でした。

企画段階から様々な意見をもらい細部は修正してきましたが、そこは変更することなく企画してきましたが私自身本当にうまくいくか不安な部分もありました。

スタッフや委員会メンバー、また委員会をこえて様々なメンバーの協力の下、準備を行ってきた結果、またグループリーダーや補佐についてくれたメンバーのおかげで実施することができました。

今回の事業での体験を通し参加してくれた子どもたちが成長し色々な問題や壁に直面した時に今回の経験を思いだし、そっと仲間のことを思いやり助けてあげることができる人間になってくれることを願っています。私自身も今回の事業で企画や準備段階、事業当日も含め色々な人に助けられ思いやり助け合うことの大切さを実感することが出来ました。この経験をこれからの活動に生かしていきたいと思います。

事業報告

１．事業名：２月例会
　日　時：２月２日（月）１９：５０～２０：２０
　場　所：クレイトンベイホテル

協力団体：なし

事業概要：

①事業を行う無人島をイメージした動画を放映した。

②当委員会の掲げる問題点を、動画と寸劇で表現した。

③動画と寸劇の内容に即して、問題点とその原因を分析、解決策を提示した。

④今年度の事業計画の説明を行った。

⑤委員長の考える「思いやりあふれるまち」を、委員長の幼少時代のエピソードも交えて説明し、事業に対する思いを述べた。再度、問題点とその原因を分析し、解決策を提示した。

検証方法と効果：

参加メンバーにヒアリングをおこなった。

今年度実施予定の事業について、メンバーに具体的なイメージをもってもらうことができ、委員長がイメージしている事業内容を共有することができた。

２．事業名：７月例会

日　時：７月６日（月）１９：５０～２０：５０

場　所：クレイトンベイホテル

協力団体：なし

事業概要：

①事業の概要をイメージした動画を放映した。

②事業当日のタイムスケジュール及び内容を委員会メンバーで説明した。

③柏島の概要（地理や施設，危険箇所など）を映像もまじえて詳しく説明した。

④当委員会の掲げる子どもへのアプローチの仕方（リーダーの指示にただ従うのではなく、あくまでも子どもが主体的に行動するため）を寸劇で表現した。

⑤委員会メンバーが各テーブルを回り、当日参加していただくメンバーに役割を説明するとともに動員をお願いした。

⑥委員長の考える「思いやりあふれるまち」創造事業への想いを述べた。再度、問題点とその原因を分析し、解決策を提示した。

検証方法と効果：

参加メンバーにヒアリングをおこなった。

思いやりあふれるまち創造事業について、メンバーに具体的なイメージをもってもらうことができ、委員長がイメージしている事業内容を共有することができた。

３．事業名：思いやりあふれるまち創造事業

日　時：7月２４日（金）９：４５～２６日（日）１１：３０

場　所：グリーンピアせとうち及び柏島

協力団体：なし

事業概要：

小学校５，６年生に２泊３日の無人島生活を体験させ、各種プログラムに取り組んでもらった。詳細は以下の通り。

１日目（7月２４日）

９：４５　グリーンピアせとうちのレインボーホール集合
１０：００　開会式
１０：３０　柏島へチャーター船で移動
１０：４５　柏島到着
１１：００　参加者へルール説明
１１：１５　各グループに分かれて役割分担決定
１２：００　昼食
１２：５０　昼食片付け
１３：００　テント作成
１５：００　夕食の食材調達
１６：００　夕食準備
１８：００　夕食
１９：００　夕食片付け
１９：３０　入浴
２０：３０　翌日の説明と１日目を振り返っての反省会

２１：００　就寝

２日目（7月２５日）

６：３０　起床・身支度
７：００　ラジオ体操
７：１０　朝食準備
７：４０　朝食
８：００　朝食片付け
８：３０　アトラクション
１０：００　昼食準備
１２：００　昼食
１３：００　昼食片付け
１３：３０　アトラクション
１６：００　夕食準備
１７：００　夕食
１８：３０　夕食片付け
１９：３０　入浴
２０：３０　翌日の説明と２日間を振り返っての感想を発表
２１：００　就寝

３日目（7月２６日）

６：３０　起床・身支度
７：００　ラジオ体操
７：１０　朝食準備
７：４０　朝食
８：００　朝食片付け
８：３０　帰宅準備
９：００　柏島清掃
１０：３０　グリーンピアせとうちへチャーター船で移動
１１：００　閉会式
１１：３０　解散

検証方法と効果：

参加者に対しアンケートを実施した。また参加したＪＣメンバーにも意見を伺った。

子どもたちに、①２泊３日の間に仲間を思いやることができたか、②できたとしたらどういう場面でできたか、という質問に対して、ほぼ全員の子どもが、仲間を思い

やることができたと回答した。またその場面としては、重い荷物を運ぶ時、料理を手分けして作る時、釣りなど道具の数が限られているレクリエーションにおいて、順番で全員が参加するようにできたとき、の回答が多かった。

また仲間を思いやる前提として、２泊３日の生活で初対面の子どもと友達になることができたという回答が多く、このことも仲間を思いやることができた結果ということができる。

事業初日の準備の段階ではばらばらに行動したりぐずぐずしている場面が多く中々テントを立てたり食事の準備も上手くいかなく時間もかかっていたが、時間がたつにつれて火をつけるのがうまくなったり自然の物（木の棒やひも）等を工夫して使い服を乾かしたりといった場面を見ることが出来た。

また最後の撤収作業はすべてのグループが我々の想定していた時間よりもはやく撤収することができた。こういった状況から我々の伝えたかった相手を思いやり助け合うことの大切さを体感していただけたのではないかと考える。

『事業報告』

大人のセナカ委員会
委員長　野﨑　秀人

〔スローガン〕　　言行一致～セナカで語れる大人を目指して～

私は「口から発せられるメッセージは行動が伴ってこそ説得力がある」と常に意識しながら行動しています。そういう意味で、この 1 年間は自分自身、今までにも増して誰に見られても恥ずかしくないような言行をしてきたつもりです。また、「人を思いやる」「助け合う」「人に迷惑をかけない」といった、あたりまえのことがあたりまえにできるようにも努めてまいりました。６月に呉市民に向けて開催するイベントで、私の思いを代弁してもらう講師も「言行一致」を実践している方にお願いしました。桑田真澄さんはとても自分に厳しい方でした。そして華々しい栄光の裏に隠された数々の挫折と努力を語ってくれました。そしてその言葉は説得力を持って聴衆の胸に刺さり、行動を改めるきっかけを与えてくれました。今後は桑田真澄さんが呉市民に対してしてくれた役割を、我々、公益社団法人呉青年会議所メンバーが中心となり担っていきます。呉市民から呉市民に、そして次世代の呉市民へと日本人の持つ素晴らしい「あたりまえ」な価値観を受け継いでいくサイクルが半永久的に力強く回っていくこと、呉市に「セナカで語れる大人」が溢れることを願い、これからも活動を続けてまいります。

事業報告

１．事業名：２月例会（第２部）「セナカで語れる大人とは」

日　時：２０１５年2月2日（月）　２０：１８～２０：５０

場　所：クレイトンベイホテル３階　天の間

協力団体：なし

事業概要（方法）：

呉市の抱える問題点を挙げ、その原因を分析し、解決策をプレゼンテーションした。具体的には、「思いやり」「助け合い」「人に迷惑をかけない」といったあたりまえの価値観が欠如してきていることを問題点に据え、その原因を、①呉市民があたりまえなことを理解できていない、もしくは理解していても実行できていない②世代間（親世代から子世代、子世代から孫世代）のコミュニケーション不足、絆の希薄化が進んでしまっていること、と考えた。このような原因を解決できる体験型事業を実施することを提案した。

検証方法と効果：

参加者にヒアリングをおこない効果を検証した。

当事業の目的は夏に予定している体験型事業をおこなうにあたって、公益社団法人呉青年会議所メンバーに対して大人のセナカ委員会の基本方針を周知させることであった。プレゼンテーションに動画やパワーポイント、また寸劇を用いることにより、当委員会の思いが大いに伝わり、先に実施する体験型事業に向けていいスタートが切れたと確信している。ヒアリングの結果も概ね高評価を得られた。

２．事業名：６月例会「セナカで語れる大人創造事業～体験編～」

日　時：２０１５年6月1日（月）　１９：５０～２０：５０

場　所：クレイトンベイホテル３階　天の間

協力団体：なし

事業概要（方法）：

６月２１日（日）に開催が決定している「セナカで語れる大人創造事業」を円滑に運営するため、公益社団法人呉青年会議所メンバーに対して事業内容の周知を図った。

具体的には、我々の目的を達成するためになぜ桑田真澄さんを招いて講演会を開催するのか、なぜ講演会の後に親子参加型のスポーツアトラクションを設けるのか、の意図を説明し理解してもらった。その後、各メンバーがスポーツアトラクションを運営するにあたり、どのような動きをするのか実演を交えて説明をおこなった。

今事業では、運営マニュアルを各々が熟読した上で「セナカで語れる大人創造事業」に参加してもらえることを前提とし、各自が状況に応じて判断をくださなければならない場面に遭遇した時に、どういった判断基準で臨むのか、その価値観を共有するこ

とを目的としていため、改めて事業目的を周知する場としても利用した。

検証方法と効果：
参加者にヒアリングをおこない効果を検証した。
スポーツアトラクションを運営する時の各自の動きを理解してもらう目的においては、時間が限られていたため全８種目のうち２種目しか取り上げられなかったことや、アトラクション内容をまだ理解できていない段階のメンバーに実演をお願いしたこともあり、この場では十分な理解が得られたとは言い切れなかった。
事業目的の共有という目的においては、２月例会からブレない一貫した主張を貫くことができたこともあり、十分に理解が得られ２０日後に迫った本番への手応えを掴むことができた。

３．事業名：セナカで語れる大人創造事業
『大人達よ！セナカで語れ！～あきらめないことを学び実践しよう～』
日　時：２０１５年6月２１日（日）　１０：３０～１７：００
場　所：呉市立呉中央学園
協力者：桑田真澄氏
協力団体：野球塾ヒロボールパーク（代表者：金本浩司氏）
呉市サッカー協会（代表者：﨑根敏夫氏）
広島県スポーツチャンバラ協会（代表者：福原吉健氏）
海上自衛隊呉テニス部（代表者：千々和剛氏）

呉バドミントン協会（代表者：住岡照行氏）
安浦町バスケットボールクラブ（代表者：藤川氏）

事業概要（方法）：
親子が組になって参加してもらう。午前中、親は元プロ野球選手の桑田真澄さんの「夢をあきらめない」というテーマの講演を聴いてもらい、「目標を立て、その目標に向かって地道に努力し、最後まであきらめずに取り組む」ことの大切さを感じてもらう。子どもは別会場にて午後のスポーツアトラクションに備えて基礎練習をおこなう。休憩を挟んだ午後からは、親子がチームを組み、主催者側が用意したスポーツアトラクションに挑戦してもらう。「種目ごとに自ら目標を立て、スポーツ指導者のアドバイスを受けながら、親子が協力・工夫して目標達成を目指し最後まであきらめずに取り組む」ことを実践してもらう。参加者全員に「元気にあいさつする」「相手を思いやり助け合う」「迷惑をかけない」「ルールを守る」「道具を大切に扱う」ことを周知し実践してもらう。

検証方法と効果：
参加者およびスポーツ指導者に対しアンケートを実施、また公益社団法人呉青年会議所メンバーにヒアリングをおこない効果を検証した。
講演会では、野球選手として稀有な経験をされてきた桑田真澄さんが、実体験を基に持論を展開することで非常に説得力のある内容となり、聴いていた大人たちの、子どもへ接する時の意識に変化を与えることができた。午後のスポーツアトラクションで大人と子どもが接する場を提供し、講演会で得た気づきをすぐに行動に移してもらうことで、より「目標を立て、その目標に向かって地道に努力し、最後まであきらめずに取り組む」ことの大切さを感じてもらえたと考える。また、親子でスポーツアトラクションに取り組む中で、「思いやり」「助け合い」「人に迷惑をかけない」といった日本人としてあたりまえの価値観を身につけてもらうことができた。

1 2 3
5 6
7 8 9

SPORTS
CHANBARA

『事業報告』

誇りある日本人育成委員会
委員長　　北川　晋作

〔スローガン〕　　報恩謝徳

戦後７０年経った現代においても、大東亜戦争後に行われたＧＨＱの占領政策により国や先人に感謝する心が失われ、自分さえよければいいという考え方の個人主義が蔓延しています。更にテレビや新聞メディアの間違った情報を鵜呑みにすることで、気付かぬうちに日本は侵略戦争を行った悪い国という考え方を持ち、日本人として誇りを持つことが出来なくなっている現状があると感じています。

そこで本年度当委員会では日本を築いてこられた先人や家族に感謝し、正しい歴史認識を持った会員を育成する為、「報恩謝徳」をスローガンに掲げました。
仮入会員に対してはメディアの情報を読み解く力を身につけること、また日本人として誇りを持って行動できる人間になってもらうことを目的として育成を行いました。

誇りある日本人育成セミナー１では、講師をお招きしご講話いただくことで、正しい歴史認識をし、メディアの情報を自らが読み解く力を身に付けました。

また、誇りある日本人育成セミナー２では、１泊２日の活動の中で先人へ感謝することを学び、厳しいことを一緒に行うことで同期の絆と友情が芽生える結果となりました。

１０月例会では、仮入会員が一丸となり「呉の歴史を通じて、愛国心ある人を育成する」という事業目的を掲げ、仮想事業の発表を行いました。結果、正会員としてバッチ授与をしていただくことができ、無事４名全員が新入会員となりました。

一年の集大成である誇りある日本人育成セミナー３では、新入会員として外部に出て事業を行うことで仮入会員時代に身に着けた率先力を発揮する場を設けました。

当委員会では１年間の事業・活動を通して、本年度入会した新入会員がどこに行っても日本人としての誇りを持ち行動できるように、全力で育成してまいりました。また、私自身委員長として、多くの外部の協力者の方々や現役会員に助けて頂きながら活動することができました事をここに御礼申し上げます。

今後のＪＣ活動を通じてこのご恩を返していく所存です。

１年間誠にありがとうございました。

入会したばかりで至らぬ点が多々あるとは思いますが、本年度入会した新入会員が、今後の呉青年会議所の事業や活動において、「明るい豊かな社会の実現」に向けて、日本人として誇りを持ち活動してまいりますので、これからもご指導・ご協力のほど、宜しくお願い申し上げます。

事業報告

１．事業名：入会候補者面接

日　時：３月２１日（土）１９時から２１時

場　所：森沢ホテル２階　ＴＳＵＤＯＩ

協力団体　：なし

事業概要（方法）

入会候補者の適性を審査するために、「尊敬する人」というテーマにて、入会候補者が、１人３分間のスピーチを檀上にて行いました。

３分間のスピーチ終了後に、審査委員会メンバーが１人２問ずつ質問を行い、終了後に審査委員会を開催し、全員一致にて全候補者の仮入会が確定しました。

検証方法と効果

参加メンバーへのヒアリングを行い、厳粛な雰囲気の中で滞りなく開催することが出来たという意見を多くいただきました。とても緊張している候補者が多かったが、呉青年会議所が真剣に活動している団体ということが候補者に伝わり、テーマを設けることにより、より深く候補者を審査することが出来たと思います。

２．活動名：仮入会員オリエンテーション

日　時：４月４日（土）１９時から２０時３０分

場　所：大和ミュージアム　４Ｆ　会議室

協力団体　：なし

活動概要（方法）

講師を当委員会スタッフ及び委員会メンバーによって、ＰＰを用いて講演形式にて、青年会議所の歴史・概略・ＪＣ用語・人物紹介・呉青年会議所の事業紹介・礼節（挨拶、お礼）・作法（国歌斉唱の姿勢、身だしなみ）の説明を行い、正会員になるまでの今年度のスケジュールと取組姿勢・ＪＣ活動の概略などをまとめた冊子の配布を最後に行いました。

検証方法と効果

現役メンバー・仮入会員にヒアリング調査を行いました。

仮入会員にＪＣ活動をするにあたり、必要な知識・礼節・作法を伝えることが出来、作法については座学だけでなく、その場で講師とともに身体を使い実践することによって、身に着けていただきました。オリエンテーション後の例会等では、教えた作法を身に付けている姿を確認し、仮入会員に伝わっていることを実感しました。

３．事業名：誇りある日本人育成セミナー１
日　時：７月２日（木）１９時から２０時３３分
場　所：森沢ホテル　２Ｆ
協力団体：木村　隆司（きむら　たかし）

事業概要（方法）

事業開始５分前には参加者全員が背筋を伸ばし席に付き、厳粛な雰囲気で開始し、日本人として先人に感謝し、誇りを持ち行動するというテーマを基に、日本の伝統と文化を受け継ぎ次の世代に伝えることの必要性や、戦後民主主義教育による教育の在り方の見直し、そしてメディアの情報を鵜呑みにせず、自ら勉強をしなければならないという内容の講演を聞きました。

講師の話を聞いても、内容が理解しやすいように、仮入会員全員参加にて事前勉強会を行い、パワーポイントを用いて、右翼左翼の経緯と意味・社会主義、共産主義の意味・マルクス主義の意味・大東亜戦争以前のアジアの状況・大東亜戦争の経緯・盧溝橋事件・ＡＢＣＤ包囲網・ハルノート・東京裁判・ＡＢＣ級戦犯の意味・従軍慰安婦問題・占領政策・領土問題の説明を年代別の歴史に沿って、理解できているかを全員に確認しながら、２時間かけて行いました。

検証方法と効果

現役メンバーへのヒアリング、仮入会員には事業前アンケートと事業後アンケートを実施し、正しい歴史認識をしてメディアの情報を鵜呑みにせず、自らが勉強し、情報を鵜呑みにしてはならないということを学んだ。

４．活動名：誇りある日本人育成セミナー２

日　時：８月２９日（土）１２時４０分から８月３０日（日）１２時１５分

場　所：第１術科学校国立江田島青少年交流の家

協力団体：なし

活動概要（方法）

１日目の最初は第１術科学校見学して、教育参考館では、国を守るため家族を守るために散華された特別攻撃隊の直筆の遺書を拝見し、先人への感謝の気持ちを持ちました。

古鷹山登山では、ＪＣＩミッション等のテストを行い、メンバー同士の絆を意識させる為、連帯責任として失敗すると仮入会員全員で腕立て伏せをしました。

１日目の最後には、「先人の日本に対する思いに触れ、日本人として現代に生きる我々は今どうあるべきか？」というテーマのもと、グループディスカッションを行い、仮入会員が発表した。発表内容について、現役メンバーからの質問に仮入会員が答え、再度テーブルに持ち帰り、最終発表を行った。１つのテーマを同期で真剣に考えることにより、自分たちが納得する発表内容になったことで、自信が付きました。

２日目は、カッター訓練を行い厳しい訓練の中で、規律正しさを学びました。

検証方法と効果

現役メンバー・仮入会員へのヒアリングを行いました。２日間に及ぶタイトで厳しい環境の中、同じ目標に向かい様々なプログラムを行うことで、同期の友情と絆が醸成されました。また、現役会員と意見を交わす場面も会ったので交流も出来たと思います。

５．事業名：１０月例会

日　時：１１月５日（月）１９時５０分から２０時５０分
場　所：クレイトンベイホテル３Ｆ　天の間
協力団体：なし

事業概要（方法）

仮入会員が、誇りある日本人育成セミナー１と２で学んだことを主体にし、ＰＰ・寸劇にて、「呉の歴史を通じて、愛国心ある人を育成する」という事業目的を持ち、問題点・事業目的・手法・検証の順に、４０分間にて仮想事業の発表を行った。その後２０分間にて、理事長からバッチについてのお言葉をいただき、その後仮入会員の年齢順にて１人ずつ登壇し、理事長からバッチをいただき、同期会長所信表明後に、委員長挨拶という流れにて、バッチ授与式を行いました。

検証方法と効果

現役メンバー・仮入会員へのヒアリングを行いました。その結果、少人数にて良くやったという意見を多くいただき、バッチ授与式にて新入会員として、現役メンバーに認めていただきました。

６．活動名：誇りある日本人育成セミナー３
日　時：１１月１日（日）１０時から１１時

場　所：大和ミュージアム前広場
協力団体：なし

事業概要（方法）

大和ミュージアム前にて３００名の観光客に対して、呉の魅力を更に知っていただき、呉の活性化につなげるため、観光客のニーズや呉市の問題点を抽出するアンケートを記入して頂き、その後ビッグカツ（３００個）といが餅（１００個）・呉細うどんとだし（２００セット）の呉の名物と新入会員が作成した、呉の歴史に関した小冊子（Ａ６・表紙＋１０ページ・フルカラー）と１枚に付き１年間有効の呉の名物（呉冷麺・呉細うどん・呉焼き）の３店舗セット１００円割引クーポン券を配布しました。

後日、アンケート集計結果（３００枚）を呉市に提出しました。

検証方法と効果

観光客にアンケートを取ることにより、駐車場が少ない、電車の本数が少ない、標識が分かりにくい、という意見が多く、我々では気付かない呉市の問題点が浮かび上がりました。
集客に関しては、無償の配布は大変効果的であることが分かりました。

呉市にアンケート結果を提出した際に、今後の呉市の活性化に役立てると約束していただきました。

『事業報告』

ちょっと気になる委員会
委員長　　門脇　渉

〔スローガン〕　　～誠実・信頼～

２０１５年度、呉青年会議所の理事を拝命し大変多くの貴重な経験をさせて頂いた。厳粛な雰囲気の理事会議、担当例会、呉ＪＣ発信事業、等々あげればきりがない。理事だから・・・というわけではないが、自然と関係各所とのやりとりが増え多くの人との出会いもあった。呉青年会議所に入会していなければ、なかった出会いもある。

年当初、広報委員会として呉青年会議所のホームページ、ｆａｃｅｂｏｏｋページをわかりやすく且つスピーディに更新し、まちづくり委員会が行う事業で定員以上の応募を頂く事を目標に掲げて活動を行った。

結果として、セナカで語れる大人創造事業、思いやりあふれるまち創造事業では、いずれも定員以上の応募を頂いたが、年間を通じ、ホームページ、ｆａｃｅｂｏｏｋページをスピーディに更新出来ていない部分もあり、募集としては成功したが反省すべき点も多くある。そんな反省点を次年度に引継ぎ、今後の呉青年会議所の広報に生かしていきたい。

厳しくなりきる事が出来ず頼りない委員長だったかもしれないが、たくさんの経験をさせて頂く中で、自分自身少しずつ成長させてもらい、理事としての自覚や自分なりの考え方が出来るようになったのではないかと思う。

その過程の中で本当に多くの仲間に助けられた。特にスタッフ、委員会メンバーには幾度となく背中を押してもらい、前に進む事が出来た。同じ時間を共に過ごす事により、お互いの誠実さを見極め、時には見極められながら強い信頼関係を築けた仲間がいる事は本当に幸せだと思う。

そんな呉青年会議所メンバーの活動が生ける広報ツールとなり、呉青年会議所の最高の広報となる事を願い、すべての方々に心より感謝申し上げ、報告とさせて頂きます。
一年間ありがとうございました。

事業報告
１．事業名：２０１５年度総合広報ツール作成
日 時：２０１５年度を通じて
場 所：
協力団体　：なし
事業概要（方法）：予算を削減し効率化を図る為、事業計画書及び会員手帳を含む総合広報ツールとして、２０１５年度（公社）呉青年会議所のホームページを２０１４年度版から引継ぎ、管理更新などの運営を行った。

① ホームページに関して
基本的な構成は２０１４年度のものを踏襲し、主な変更点はトップページのスローガン、基本方針、所信及び挨拶、年間事業計画とした。管理ページにて手軽にホームページの更新ができるため、タイムリーな更新をｆａｃｅｂｏｏｋと連動して行った。

② 会員手帳に関して
手帳もＨＰのコンテンツとして盛り込んだが、名簿に関してはデジタルデータだけでなく、冊子として特別会員と現役会員、ＪＣの関係各所に配布した。

③ 事業計画書に関して
基本的にはＨＰに掲載し自由に閲覧して頂く方法であるが、主な関係者諸団体には２０１４年度同様、手交または郵送した。教育委員会には手交にて説明を行い、各学校へはホームページの案内を郵送し、事業計画を閲覧して頂いた。

検証方法と効果：メンバーにヒアリングをおこない意見を集めた。
① ホームページに関して
基本的な構成を２０１４年度から引継ぎ事業計画書及び会員手帳、ホームページ（ＨＰ）を一つの事業としてまとめる事により、予算を抑える事が可能となった。ＨＰトップ画のみを毎年更新する事で、今年度以降のＨＰ更新費用を安価に抑える事が可能になったが、前年度と代わり映えしないとの一部意見もあり、会員数が減少する中で内部的なコストを削減する事も必要だが、いっそうの広報につなげる為には真新しさも必要である。

② 会員手帳に関して
名簿に関してはデジタルデータだけでなく、冊子として特別会員と現役会員、ＪＣの関係各所に配布したところ、好意的な声が多数あった。

③ 事業計画書に関して
前年度よりＨＰでの公開をメインに行い一部を手交にしたが、事業の告知を行う際には各委員長が呉市企画情報課へ出向き詳細な事業概要の説明を行い、各学校へ事業を案内する際には各委員長が校長会に出席し都度事業の説明を行うことができるため、今後もこの方法が好ましいと感じた。

２．事業名：年間広報事業
日 時：２０１５年度を通じて
場 所：
協力団体 ：なし

事業概要（方法）：年間を通じ各委員会の告知活動等を通し、募集活動の協力を行うため、各種メディア、各種団体窓口の連絡調整役を務め各委員会事業の中身をよく理解し、各委員会と協力して広報を担当した。
検証方法と効果：メンバーにヒアリングにて意見を集めた。
年間を通じて各委員会と連携を強化し、お互いの委員会が遠慮せず協議を重ねる事で行われる事業の中身をよく理解し効果的な広報を行った。また、窓口をはっきりさせる事により年間を通じ円滑な広報活動を行うことができた。２０１５年6月２１日（日）に行われたセナカで語れる大人創造事業、７月２４日（金）～２６日（日）に行われた思いやりあふれるまち創造事業では、いずれも定員以上の応募を頂いた。

３．事業名：１月第２例会　（アカデミー広報室合同例会）
日 時：２０１５年1月１９日（月）
場 所：クレイトンベイ３階天の間
協力団体　：なし

事業概要（方法）：早期に各委員会の年間ビジョンをメンバーへ提示し、より精度の高い事業実施を目指し、意識の統一を図るために下記内容にて行った。
・広報とはどういうものかを説明し、今年度　田尻理事長から頂いたお題の説明と検証を行った。
・ＶＴＲを流しイメージを膨らませてもらい、補足説明を行った。
・１年間広報活動を行っていく上で公益社団法人 呉青年会議所の問題点と解決策の説明を行った。
・近々に迫っていた京都会議ロムツアーの紹介をメインに、今年度各種ロムツアーの案内・高知合同例会の紹介をし、メンバーへ参加を促した。

検証方法と効果：メンバーにヒアリングをおこない意見を集めた。
・メンバーに広報とはどういう事かを考えて頂くよい機会になった。
・広報を考えると同時に、公益社団法人 呉青年会議所メンバーとしての在り方、事業への参加や会員拡大に意識を向けて頂けた。
・高知ＪＣとの合同ロムナイト開催の周知徹底が行えた。

４．事業名：４月例会
日 時：２０１５年4月6日（月）
場 所：クレイトンベイ３階天の間
協力団体　：なし
事業概要（方法）：呉みなと祭で行う呉ＪＣ発信事業（祝　てつぞー５周年　大抽選会）

をＪＣメンバーに告知、周知徹底し協力依頼をするため下記内容にて行った。
・冒頭例会の趣旨説明を行い、その後パワーポイントを使用して呉みなと祭についての説明、呉ＪＣと呉みなと祭についての関わりを説明した。その後改めて慣れ親しんだ呉みなと祭の雰囲気をイメージしてもらう為ＶＴＲを流した。
・パワーポイントを使用して呉みなと祭にて行うアンケートについての説明、事業当日の流れの説明を行った。
・事業当日のアンケートの取り方を寸劇にて行った。
・テーブルごとに事業当日の流れの説明を行い、事業の出欠確認および参加依頼を行った。

検証方法と効果：メンバーにヒアリングをおこない意見を集めた。
・呉みなと祭の歴史についての説明では、呉のまちがどのように栄えてきたのか時代背景もわかって良かった、という意見を頂いた。
・呉みなと祭が呉ＪＣにとって特別なイベントであることを感じて頂けた。
・メンバー自身にアンケートをどのように行うかイメージして頂くよい機会になった。
・アンケートを行うと同時に事業当日のメンバーの行動が広報につながる事を改めて感じて頂けた。
・テーブルごとに面と向かって説明・出欠をとることにより、事業当日少しの時間でも参加するという声を頂いた。

５．事業名：呉ＪＣ発信事業
日 時：２０１５年4月２９日（水）
場 所：みなと祭り会場
協力団体 ：なし
事業概要（方法）：今後行われる事業の集客・募集、会員拡大につなげるため、みなと祭りで呉ＪＣをピーアール及びアンケートを実施した。
①ゆめみらい広場（呉市役所構内駐車場一帯）においてブースを出店し、そのブースを本部として１０：００～１５：００の時間で法被を着用しアンケートを実施した。ブース以外のみなと祭り会場周辺においても委員会ごとの班にわかれ、各班がのぼりやバインダー、記念品のクリアファイルを持ってアンケートを実施した。アンケートは応募券も兼ねており後日抽選にて当選者を確定した。
②呉市役所駐車場特設ステージにおいて、１２：１０～１２：３０の時間で当日参加していたメンバー全員とてつぞーも一緒に登壇し呉青年会議所のピーアールを行った。

検証方法と効果：メンバーにヒアリングをおこない意見を集めた。
・呉みなと祭り会場周辺を回りながら、多くの市民と話し触れ合える機会となり、直接コミュニケーションをとりながら、市民から激励も頂き頑張る事が出来たので、事業に参加

する喜びを味わえた。メンバーは法被を着用していたので、一生懸命活動する姿は良いピーアールになったと思う。同時にのぼりも持っていた為、わかりやすくて良かった。
・ブースではアンケート開始直後から多くの方が立ち寄って下さり、配置メンバーだけでは対応しきれない場面もあった。ブースをメインステージ前に出させて頂いた為、立地の関係もあると思う。また、ブースの横断幕がわかりやすくて良かったとの声も頂いた。当日は大変暑い中、現役メンバーや仮入会メンバーが交代でてつぞーを着てくれた為、殆どの時間ブース前にてつぞーがおり、それが集客につながったと考える。
・当日はメンバーの一人一人が本当に真面目に取り組んでくれた為、呉青年会議所として一体感を持って活動をする事が出来た。取得したアンケートのコメント欄にもメンバーに好意的なコメントもあり、メンバーの態度・行動が呉青年会議所の良い広報となったと考える。
・ステージでのピーアールは法被着用で多くのメンバーが登壇する事が出来、会としての一体感が感じられてよかった。てつぞーも一緒に登壇したので、良いピーアールになったと思う。

６．事業名：高知合同例会
日 時：２０１５年5月１６日（土）１４：００～２１：１０
１４：００　受付(運動場)
１４：１５～１６：００　(運動場)　兄弟愛♡おとなの運動会
１６：００～１７：３０　着替え・休憩（ホテル組はチェックイン）
１７：３０～１８：００　総会(３階レインボーホール)

１８：１５～２１：１０　合同例会・Ｓｗｅｅｔ　Ｌｏｖｅ　４０ｔｈ　Ａｎｎｉｖｅｒｓａｒｙ（３階レインボーホール）
場 所：サンピアセリーズ（高知県高知市高須砂地１５５番地）
協力団体　：なし
事業概要（方法）：呉ＪＣと高知ＪＣの連携を促し、今後より高度な地域貢献活動を展開するため下記内容にて行った。
①兄弟ＪＣが力を合わせ、今後益々交流を深める為に兄弟愛♡おとなの運動会に現役メンバーで参加した。
②高知合同例会に参加しその後、結婚式に見立てた４０周年の記念となる懇親会（Ｓｗｅｅｔ　Ｌｏｖｅ　４０ｔｈ　Ａｎｎｉｖｅｒｓａｒｙ）に参加した。

検証方法と効果：メンバーにヒアリングをおこない意見を集めた。
・運動会では体が触れる場面もあり、泥臭くがむしゃらに運動する事により自然と交流が深まった。
・運動会で呉青年会議所と高知青年会議所が混ざってチーム分けした事により、ロムの垣根を越えて一体感が感じられた。
・合同例会では呉と高知の歴史がわかりやすくて良かった。
・兄弟締結４０周年を結婚式に見立てて懇親会を行ったのは、演出等含め一体感があって良かった。
・懇親会では現役も先輩も時間を忘れて話に盛り上がり、会場のあちこちで楽しく酒を酌み交わすメンバーが多く本当に懇親が図れたと感じた。

７．事業名：事業報告書作成
日 時：２０１６年３月
場 所：ホームページに掲載
協力団体 ：なし
事業概要（方法）：年間の事業活動の成果を総括し検証するため。
１年間の事業活動をもとにワードにて作成し、ＰＤＦ化したものをホームページ上 に掲載した。構成については、理事長報告（Ａ４ ３ページ程度）、副理事長報告、専務理事報告、事務局長報告、室長報告（各Ａ４ １ページ程度）、委員長報告、特務機関長報告、出向理事（実行委員長）報告、（各Ａ４ １０ページ以内）、収支決算報告書、監査報告書の順とした。写真のサイズは長辺４８０×短辺３６０以内で２５０キロバイト以内とした。

②配布については、ホームページに掲載後にメンバー、特別会員、関係諸団体に案内した。現役会員についてはメンバーメールで、特別会員及び関係諸団体については事業報告書作成の案内文をメール便にて配布し、閲覧して頂いた。
検証方法と効果：年初に配布した事業計画書に基づき一年間に行った事業活動の報告をメンバー、特別会員、関係諸団体に広く周知することで、我々の活動を理解して頂き、次年度以降もより円滑に活動を行うことができるようになった。

『事業報告』

正義の力向上委員会
委員長　空本　壮平

〔スローガン〕　　協心戮力～ 正義の旗をかかげて ～

呉青年会議所は正義の旗を高らかに掲げ、活動できる団体でありたい。そう私は思った。それには呉青年会議所を内側からもう一度見つめ直し、まず己の義を正す必要があった。私は総務委員長として、内側からメンバーを正し、協心戮力（心と力を合わせ活動）させる事を使命とし、この一年間行動、実践した。

私の正義を伝えるため、まずは例会の出席義務を果たしてもらうべく、メンバーに出席のお願いの電話をさせて頂くと共に、どうしても例会参加できないメンバーへのメイクアップの参加を依頼した。結果３度の１００％例会を達成することができ、達成できない回も高い出席率をあげることができた。その上で毎例会前に正義の五箇条を読み上げる事により、私なりの思いを伝えメンバーひとりひとりの義を正し、正義の旗を掲げるにふさわしい団体となる礎を築くことができたと自負する。

そして、心と力を合わせてより強固な団体として活動していくために会員交流会を開催した。バブルサッカーという求心力のあるスポーツを取り入れる事によりたくさんのメンバーを集め、競い、その後の懇親会で一緒に食事を囲むことでメンバー同士の絆を深めた。また、日頃からメンバーを支えて頂いている家族にも青年会議所活動をより深く理解して頂くと共に日々の感謝の思いを込めて家族会員交流会を開催した。家族会員交流では普段見ることのできない、夫として、妻としてまた父親や母親の顔をしたメンバーに触れる事により更なる団結力を生んだ。また、子供の喜ぶ顔を見て、力をもらい、我々はこの子供たちのためにもこのまちをよりよいまちにするよう活動していこうという命題を再確認することができた。

最後に、一年間正義を貫かせて頂き、無事に委員長職を勤める事ができたのも、神垣専務理事をはじめ、中島副委員長、松村幹事、委員会メンバーのおかげである。ここに感謝を申し上げ報告とさせて頂く。ありがとうございました。

事業報告

１．事業名：総会並びに例会運営
　　日　時：毎例会　毎総会
　　場　所：クレイトンベイホテル

協力団体　：なし
事業概要（方法）：毎総会を円滑に運営する為資料作成、会場設営、受付、司会、議事録作成を担当し行った。毎例会において、会場設営、受付、運営、司会を行った。ＪＣボックスには担当者を置き、規定に該当する場合、喜捨を求めた。
毎例会の初めに正義の五箇条を皆で唱和し、例会に対する意識改革を行った。

検証方法と効果：メンバーへヒアリングを行った。
ＪＡＹＣＥＥとしての意識統一と確認の場として、組織・所属委員会の一員であることを自覚し、正義の五箇条によりの自分たちの例会へ臨む姿勢を今一度正すことができた。

２．事業名：１２月第１例会（次年度担当例会）

日　時：２０１４年１２月１日（月）　１９：５０～２１：００
場　所：クレイトンベイホテル　３Ｆ　天の間
協力団体　：なし
事業概要（方法）：スローガン発表前にスローガンを白幕で隠した所に動画を流し除幕

後スローガンを発表し、理事長所信並びに基本方針を説明した。それにより、２０１５年度 公益社団法人 呉青年会議所の全体としての方向性を示した。
その後中国地区協議会 地区コンファレンスの鍵の伝達式を行い次年度理事役員、出向者の紹介を行った。委員会タイムを行い、委員会の基本方針を簡潔に示し、委員会紹介を行い、委員会全体を巻き込んだ紹介を行った。

検証方法と効果：メンバーへヒアリングを行った。
「『正義の五箇条』は、次年度のスローガンのサブタイトル『当たり前のことを当たり前以上に』に一致していて、ＪＣだけではなく日常でも当たり前の事である、「時間を守る」や、「食事の前の合掌」など、当たり前だとわかっていても頭でわかっていてもあらためて言葉として発し、行動することで今一度、確認ができ感心しました。初歩的な事をしなければならない団体なのか？と残念な気持ちとは反面、改めて見つめ直そうとされる極め細やかな意気込みが今後の一つ一つの例会や事業を礼儀正しく作り上げていくのだと実感させられました。」と言った意見が多くあった。
２０１５年度 公益社団法人 呉青年会議所の基本方針をメンバー全員で共有することができ、又、理事役員、出向者及び委員会の紹介を通じ、メンバーの意識統一を図る事ができた。また、２０１５年度 呉の地で行われる、中国地区協議会 地区コンファレンスを実施する上で、メンバーの前で鍵の伝達式を行うことで、メンバーに周知していただき、参加率の向上を促した。

３．事業名：１月第１例会（新年互礼会）

日　時：２０１５年1月１０日（土）　１９：００～２１：００
場　所：クレイトンベイホテル
協力団体　：なし
事業概要（方法）：２０１５年度（公社）呉青年会議所の理念と基本方針について行政や関係諸団体に直接伝える事で、今後のご理解とご協力に繋げ、より成果の高い地域貢献活動を展開するためオープニング アトラクションとして武田学園呉港高等学校空手道部による演武を披露して頂き田尻理事長が自ら板割りに参加した。その後理事長挨拶を実施し、２０１５年度呉青年会議所の一年間の方向性を内外に明らかにした。最後に来賓より挨拶を頂いた。

検証方法と効果：メンバーへヒアリングを行った。
・新年の始まりに空手の演武・理事長の板割を披露していただき、気を引き閉めて１年を送ることを強く思いました。
・乾杯の前にビールを持って来るタイミングが悪く、来賓の話の途中で失礼だった。
２０１５年度（公社）呉青年会議所の理念と基本方針について行政や関係諸団体に直接伝える事で今後のご理解とご協力に繋げ、より成果の高い地域貢献活動を展開するための互礼会となった。
そして、武田学園呉港高等学校 空手道部の演武により、来賓、特別会員、現役メンバーが１年の門出の良い刺激となった。なお、２０１５年度の率先垂範の目標を掲げた田尻理事長が自ら参加し、オープニングで板割りを実施したことで、参加者に理事長の漢らしさと意気込みを披露することができた。
また、今年度は過去のビュッフェ形式の料理を取る作業から、料理を新春らしく和食にし、コース料理にて提供したことにより、コンパニオンも少数で運営できた。

４．事業名：３月例会（総務委員会・公益担当特別理事合同担当例会）

日　時：２０１５年3月２日（月）１９時５０分～２０時２７分
場　所：クレイトンベイホテル
協力団体　：呉武田学園　呉港高等学校　空手道部
事業概要（方法）：過去の総務委員会が実施した例会運営をオープニング動画として放映し、パワーポイントを使って当委員会が掲げる基本方針を説明した。
今年度、当委員会が毎例会行う「正義の五箇条」を挙げて問題点とその原因を説明し解決策を提示し、今年度実施する会員交流の目的とイメージをパワーポイントを用いて説明した。
最後に委員長が考える公益社団法人呉青年会議所に対する意識の向上とメンバー同士の強固な絆を周知するための思いを述べた。
検証方法と効果：メンバーへヒアリングを行った。
正義の五箇条を分かりやすく説明されていて、 委員会メンバーも登場場面が各々あって委員会の団結感も出て良かった。近年なかった会員交流もいろいろ考えられていて是非参加したいと思いました。
組織としての意識を再確認するとともに公益社団法人呉青年会議所メンバーとしての意識を再確認する方法として、パワーポイントを使いながら基本方針を説明しフローチャートと正義の五箇条を交えながらメンバーに理解してもらうことができた。また会員交流を実施するにあたり、明確な事業内容の説明はできなかったが、参加を促す方法として、過去呉青年会議所が実施された会員交流を例に出して説明を行いメンバーに理解してもらうことができた。

５．事業名：会員交流会

日　時：２０１５年4月１８日（土）　１７：００～１９：００
（１９：００～２１：００　懇親会）

場　所：呉市大浦崎スポーツセンター体育館

協力団体　：なし

事業概要（方法）：メンバーの一人ひとりの個性を知り、より親睦を深めることで、今後の地域貢献活動に対するビジョンの意識統一を図るため屋内で球技大会（バブルサッカー）を委員会対抗で開催した。球技大会開会は、理事長挨拶、注意事項の説明、ラジオ体操の順で行い試合を開始した。対戦方法は各委員会最低でも２試合できるようにトーナメント方式で行った。審判並びにタイムキーパーを各委員会から出してもらい、事前にお願いの連絡をし、ルール並びに注意事項は事前にメーリングでメンバーに配信した。バブルサッカー終了後、懇親会を行い懇親会中に試合の順位とＭＶＰを発表し景品の肉（１位：特上ロース、２位：特上カルビ、３位：タン、４位：豚トロ、５位：ウィンナー）を授与した。

検証方法と効果：メンバーへヒアリングを行った。

ヒアリングを行った結果、土曜日１７時という早い時間からの開催に加え、ほとんどのメンバーが仕事ではある土曜日に開催したことにより全員参加ができなかったことは残念ではあったが、おそらく誰も経験したことがなくあまりなじみのない珍しいバブルサッカーを選定したことにより「面白そう」「やってみたい」という好奇心を与えられ、その結果多数のメンバーが参加した。また会員交流会終了後も「楽しかった」「またやってみたい」という意見が多かった。

懇親会も事前に準備をした結果、バブルサッカー終了後からの懇親会がスムースに運営できた。

メンバー同士の結束を強めるためには、楽しく体を動かし、メンバー同士が一丸となって一つの事に取り組む目的として委員会対抗で行うバブルサッカー（バルーンサッカー）を選定したが、バブルサッカーは行う側はもちろん、見ている側も最初から最後まで全員が楽しく行えた競技であった。各委員会並びに仮入会員から事前に審判などの役割をお願いし、協力して頂いたことにより、責任感や事業内容を把握していただくことができた。

実況に関しては、運営内容を伝える事はもちろん、試合中の迫力感を伝える事により、見ている側も次の試合に臨むイメージが膨らみやすく飽きさせない手法の一つであった。

参加人数については、土曜日１７時からの開催という事もあり、また会場が少し離れている為、４０名の出席で当初掲げていた全員出席が達成できなかったことが残念であった。

懇親会については、バブルサッカーを振り返る場でもあったが、例会や事業だけで思いのたけを受け止め親睦を深めるだけではなく、会員交流という遊びの場での親睦が

できたことによりメンバー同士の結束がより深まったと感じた。

６．事業名：８月例会

日　時：２０１５年８月３日（月）１９：５０～２０：５０

場　所：クレイトンベイホテル　３Ｆ天の間

協力団体　：なし

事業概要（方法）：地区コンファレンスの概要の理解・共有、運営説明、メンバーに協力を仰ぐため地区コンファレンス実行委員会によるプレゼンテーションを行った。ＶＴＲ、パワーポイントを用いて事業概要全体の流れを説明しメンバーの役割を説明した。各テーブルに実行委員会メンバーを配置し、前日・当日の動きの詳細説明をした。最後に実行委員長挨拶において、仮入会員を含め全メンバーに地区コンファレンスが迫ってきている事を周知徹底し、大成功を治める為には全員の力が必要である事を喚起した。

検証方法と効果：メンバーへのヒアリングを行った。

地区コンを経験していないメンバーが多い中で、具体的な流れがわかってよかった。

各委員長が交代で役割分担を話してくれたので自分の役割がわかった。

当日までの役割分担についての周知を図れた

当日の役割分担の周知を図れた

当日に臨むまでの心構えなどの周知を図れた

地区コンにおける呉ＪＣの役割、メンバー個人の役割の確認ができた

７．事業名：会員家族交流

日　時：２０１５年8月2日（日）　９：００～１３：００
（１３：００～１５：００　懇親会）
場　所：江田島市大柿町大原キャンプ場
協力団体　：なし
事業概要（方法）：メンバー及びメンバーの家族と交流し親睦を深めることで、今後の地域貢献活動に対するビジョンの意識統一を図るため大柿町大原のキャンプ場にてメンバーとその家族にて交流会を実施した。午前中は、キャンプ場下にあるビーチにて、海水浴をはじめ、氷の中のおもちゃをゲット、バナナボートによるマリンスポーツを実施した。午後からは懇親会を開催し交流を深めた。バーベキュー・細うどん流し・氷の滑り台・プール・トランポリンの各種アトラクションを行った。
開会式は、キャンプ場にて理事長挨拶、注意事項の説明を行いビーチへ移動した。メンバーの家族へ超夏休みの案内チラシを郵送し、参加を呼びかけた。氷の滑り台は事前に型枠を組み、当日氷を設置した。マリンスポーツ等海でのアトラクションをする為、大柿漁協組合へ許可を取った。安全面の配慮により午前中は禁酒とした。

検証方法と効果：メンバーへヒアリングを行った。
ヒアリングを行った結果、マリンスポーツや、氷の滑り台等普段あまり経験することのできない事を体験することができ楽しかったという意見が多かった。子供を中心としたアトラクションにより、飽きさせず１日を過ごすことができた。・ビーチやキャンプ場でのイベントやアトラクションにより、家族を中心とした会員交流ができた。子ども同士仲良く遊ぶこともできていて呉ＪＣの横の繋がりをより強固にする事ができた。子供や家族が中心の企画運営であったが、独身者は率先して裏方として行動して頂き、スムースな運営をすることができた。懇親会では、ただ食事をしてお酒を飲むだけではなく、バーベキューや細うどん流し、デザートのすいか割りなど、大人も子供も一緒に楽しむ事ができた。海や屋外でのアトラクションを大人だけでなく子供たちも体験するため、怪我をする心配もあったが事前準備や注意喚起により怪我人をだす事もなく終える事ができた。

８．事業名：１１月例会（創立記念日例会）

日　時：２０１５年１１月１１日（水）　１９：００～２１：００

場　所：クレイトンベイホテル　３Ｆ　天の間

協力団体　：なし

事業概要（方法）：（公社）呉青年会議所の創立以来の歴史を振り返ることで当団体の理念を再認識し、今後より高度な地域貢献活動を実現するため創立からの歴史をＶＴＲで振り返ったあと、理事長による氷のオブジェ作成ＶＴＲから作成した氷のオブジェの除幕点灯を行った。その後理事長挨拶、特別会員会会長挨拶を行った。公社）呉青年会議所の創立以来の歴史を振り返ることで当団体の理念を再認識し、今後より高度な地域貢献活動を実現することができた。

検証方法と効果：メンバーへヒアリングを行った。

理事長の氷のオブジェ作成ＶＴＲがよく編集されており､また迫力ある作品に仕上がっていてよかった。歓談の時間がたくさんあり、いろいろな人と話すことができ、時間配分がちょうどよかった。

（公社）呉青年会議所の創立以来の歴史を振り返ることで当団体の理念を再認識し、今後より高度な地域貢献活動を実現することができた。

９．事業名：１２月第２例会（卒業式　納会・卒業送別会）

日　時：２０１５年１２月１９日（土）１８：００～２１：００
場　所：クレイトンベイホテル３階　花の間、天の間
協力団体　：なし
事業概要（方法）：卒業生の功績を称えると共に、卒業後の公益活動を喚起することで、明るい豊かな社会を実現することを目的とした。
最初に卒業生の経歴紹介、感謝状授与、現役メンバー代表による送辞朗読、卒業生代表による答辞朗読を行った。納会は、理事長による統括スピーチにて、本年度事業の報告と検証が行われた。最後に次年度理事長へ理事長バッジが、次年度専務理事へＪＣ旗が引き継がれた。卒業生の席札として、氷のオブジェの中に卒業生がＪＣ生活で活躍された過去の写真を封入したものを使用した。

検証方法と効果：メンバーへヒアリングを行った。
卒業式は例年通り厳かな雰囲気でよかった。
納会は例年通りの引継ぎ的なところがきちんとできていてよかった。また、会場の氷の中に卒業生の写真が入っていて工夫が見えた。
厳粛な雰囲気の中、卒業式を執り行い、卒業生の功績を称えるとともに、卒業後の公

益活動を喚起することができ、また、事業報告を行うことにより本年度の呉青年会議所の軌跡を把握し、かつ次年度以降より高度な地域貢献を実施する為の一助とすることができた。

『事業報告』

公益認定等内部審議特務機関
特務機関長　　原　晃志

〔スローガン〕　　公益、襲来

事業計画において、当特務機関は、年間を通じて行う事業精査及び行政庁への手続等の活動のほか、本年度、会員向けのセミナーを実施することを計画しました。その目的は、会員において、公益社団法人運営に関する正しい知識を習得することでした。「よく分からないまま恐る恐る歩を進める」、「疑心暗鬼を生じて萎縮し、不必要な自縄自縛に陥る」、そのようなことのないように、まずは公益社団法人運営に関する正しい知識の習得が肝要でした。

セミナーの実施に当たって留意したのは、全く知識のない会員においても分かりやすい内容とすることでした。全く知識のない段階で、制度を網羅的に伝えようとすることは、学習の当初から心の壁を作ってしまうことになりかねません。そこで、最低限の基本的知識としてキーワードを絞り込み、

①公益目的
②不特定多数
③公益支出５０％以上

の３要点を掲げ、これを何度も繰り返すこととしました。

また、セミナーの実施に当たっては、楽しい雰囲気の中で学習してもらえるよう配慮しました。面白い化学実験のやり方を調べたり、自己啓発の資料を参考にしたり、ムービーを自作したりして、セミナーの中に取り入れました。

反省すべきこととしては、内容が基本的なものに留まったため、既に知識のある会員の目から鱗が落ちるような新しい可能性やビジョンを示すことができなかったという点です。また、実務的な細かい手順やマニュアル等も、いまだ確立されていないところがあります。今後、担当者が変わっても戸惑うことのないよう、確実な引継ぎ等の工夫が必要です。

反省点は多々ありますが、澤井補佐の尽力や、正義の力向上委員会のご協力のおかげで、事業を実施することができました。感謝に堪えません。

各事業によって、会員が公益社団法人運営に関する学習を行う「とっかかり」の場面で、少しでも心の壁が中和されることになったのであれば、幸いです。

事業報告

１．事業名：３月例会

日　　時　：２０１５年3月２日（月）２０時２７分から２０時５０分まで

場　　所　：クレイトンベイホテル　３Ｆ　天の間

協力団体　：無

事業概要（方法）：　当特務機関の目的である「公益社団法人運営に関する知識習得」を図るため、公益社団法人運営の基礎知識を提示した。提示の方法は、原特務機関長及び澤井特務機関長補佐によるプレゼンテーションの方法（両名の対話・掛け合い）によった。基礎知識については、

①公益目的

②不特定多数

③公益支出５０％以上

という３要点に絞り、その概要を説明した。公益法人運営というテーマの敷居の高さを意識させないようにするため、オープニングムービー（自作）で会場の空気を和ませるなどの試みを行った。

また、「次回予告」ムービー（自作）を上映し、平成２７年３月３０日に行う３月セミナーへの参加呼びかけを行った。

なお、オープニングムービー及び「次回予告」ムービーについては、上記３要点に関するメッセージをサブリミナル的に埋め込むなどして、知識習得という目的に少しでも寄与するよう配慮した。

検証方法と効果：　検証として、参加メンバーにヒアリングを行い、意見及び感想を聴取した。良かった点として、「楽しかった」、「ムービーが作り込まれていた」、「説明が分かりやすく、説得的であった」などの意見・感想があった。悪かった点として「ムービーの趣旨がわかりにくかった」、「当たり前のことを聞かされてレベルが低いと感じ、違和感があった」などの意見があった。

メンバーからの意見及び感想をみるに、公益社団法人運営に関して既にある程度の知識を持っているメンバーからすると物足りなかったようであるといわざるを得ないものの、概ね好評であったといってよいと思われる。

２．事業名：（メインタイトル）

３月セミナー

（サブタイトル）

「あんたバカァ？」と言われたくない人が理論武装のとっかかりを学ぶ

ための第零(ゼロ)術科学校　法人補完計画　総論－セントラルドグマ

日　　時　：２０１５年3月３０日（月）１９時３０分から２１時００分まで

場　　所　：一般財団法人 呉海員会館（ビュー・ポートくれ）２階　大会議室

協力団体　：無

事業概要（方法）：　公益社団法人であることのメリットと制約を説明し、呉青年会議所が公益社団法人格を取得した経緯の概要を紹介した上、公益社団法人運営の３要点である

①公益目的

②不特定多数

③公益支出５０％以上

を解説した。提示の方法は、原特務機関長及び澤井特務機関長補佐によるプレゼンテーションの方法（両名の対話・掛け合い）によった。小学校の授業イメージで、ゲームや小道具や化学薬品を使用した３要点の説明を行い、見た目にも分かりやすい楽しいセミナーとなるよう配慮した。

検証方法と効果：　検証として、参加メンバーにヒアリングを行い、意見及び感想を聴取した。良かった点として、「ぼんやりしていたことの輪郭が見えてきた気がする」、「内容は理解できた」、「学校の授業に見立てるなど、飽きさせない工夫をしていた」などの意見・感想があった。悪かった点として「機材に不具合があった」、「内容が基本的にすぎた」、「実質的に３月例会の繰り返しだった」などの意見があった。

やはり、知識を持っているメンバーからすると物足りなかったようであるが、楽しい雰囲気で公益の学習をするとっかかりにはなったものと思われる。

３．事業名：(メインタイトル)

９月例会

(サブタイトル)

「最低だ…俺って」と後悔したくない人が弁論術(プレゼンテーションスキル)のとっかかりを学ぶための正当防衛大学校

法人補完計画　各論－ターミナルドグマー

日　　時　：２０１５年９月７日（月）１９時５０分から２０時５０分まで

場　　所　：クレイトンベイホテル　３Ｆ　天の間

協力団体　：無

事業概要（方法）：当特務機関の目的である「公益社団法人運営に関する知識習得」を図るため、公益社団法人運営の基礎知識を提示した。提示の方法は、原特務機関長及び澤井特務機関長補佐によるプレゼンテーションの方法によった。基礎知識については、

①公益目的

②不特定多数

③公益支出５０％以上

という３要点に絞り、その概要を説明した。

単に公益社団法人運営の３要点を繰り返すだけでなく、会員において関心を持ちやすいであろう弁論術（プレゼンテーションスキル）というテーマを絡めたセミナーとした。

検証方法と効果：　検証として、参加メンバーにヒアリングを行い、意見及び感想を聴取した。良かった点として、「プレゼンテーションについてのみ、深く追求した企画は初めて参加したので新鮮で勉強になった」、「公益の要点が繰り返されていて理解の助けになった」などの意見・感想があった。悪かった点として「公益に関する説明が薄かった」などの意見があった。

やはり、知識の格差により、受講者の満足度に開きがあったといわざるを得ない。もっとも、これから公益等について学びを深めようとするメンバーに対して、学習効果を上げるため、あえて基本的な内容の「繰り返し」を行うことは当初の目論見通りであり、目的のための一定の効果は得られたものと思う。

公益社団法人　呉青年会議所

会計報告書

自　　2015年1月1日
至　　2015年12月31日

【呉青年会議所】

貸借対照表

2015年12月31日現在

（単位：円）

科目	当年度	前年度	増減
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,246,311	5,965,671	-719,360
未収入金	501,500	758,600	-257,100
流動資産合計	5,747,811	6,724,271	-976,460
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産預金	0	0	0
基本財産未収入金	0	0	0
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
周年事業積立金現預金	6,752,476	5,625,904	1,126,572
退職給付引当金資産	2,094,000	2,040,000	54,000
特定資産合計	8,846,476	7,665,904	1,180,572
固定資産合計	8,846,476	7,665,904	1,180,572
資産合計	14,594,287	14,390,175	204,112
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	12,000	8,710	3,290
供託預り金	781,812	1,076,501	-294,689
預り金	189,668	185,291	4,377
流動負債合計	983,480	1,270,502	-287,022
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,094,000	2,040,000	54,000
固定負債合計	2,094,000	2,040,000	54,000
負債合計	3,077,480	3,310,502	-233,022
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	11,516,807	11,079,673	437,134
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(8,846,476)	(7,665,904)	(1,180,572)
正味財産合計	11,516,807	11,079,673	437,134
負債及び正味財産合計	14,594,287	14,390,175	204,112

【呉青年会議所】

正味財産増減計算書

2015年1月1日から2015年12月31日まで

（単位：円）

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
Ⅰ．一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
（1）経常収益			
特定資産運用益	(1,572)	(645)	(927)
特定資産受取利息	1,572	645	927
受取入会金	(1,125,000)	(2,250,000)	(-1,125,000)
入会金収入	1,125,000	2,250,000	-1,125,000
受取会費	(12,735,000)	(14,280,000)	(-1,545,000)
正会員会費収入	8,550,000	10,050,000	-1,500,000
特別会員会費収入	4,185,000	4,230,000	-45,000
事業収益	(1,091,000)	(1,765,000)	(-674,000)
登録料収入	1,091,000	1,765,000	-674,000
受取補助金	(400,000)	(400,000)	(0)
受取市補助金	400,000	400,000	0
受取寄付金	(0)	(0)	(0)
寄付協賛金	0	0	0
雑収入	(203,230)	(243,516)	(-40,286)
受取利息	2,147	2,207	-60
雑収入	201,083	241,309	-40,226
経常収益計	(15,555,802)	(18,939,161)	(-3,383,359)
（2）経常費用			
事業費	(10,502,372)	(11,040,628)	(-538,256)
給与(事業	1,563,335	1,563,335	0
福利厚生費(事業	263,600	252,589	11,011
旅費交通費(事業	523,560	56,680	466,880
通信運搬費(事業	296,197	165,945	130,252
消耗品費(事業	1,278,995	1,187,540	91,455
広告費(事業	248,400	451,500	-203,100
印刷費(事業	358,680	946,096	-587,416
リース料(事業	850,053	270,000	580,053
水道光熱費(事業	52,579	60,067	-7,488
燃料費(事業	21,000	0	21,000
会場費(事業	324,520	1,746,195	-1,421,675
賃借料(事業	665,688	789,553	-123,865
保険料(事業	48,344	13,000	35,344
謝礼金(事業	1,769,600	1,517,879	251,721
記念品費(事業	499,546	342,654	156,892
保守料(事業	0	24,900	-24,900
清掃費(事業	64,800	107,400	-42,600
支払助成金(事業	250,000	1,056,800	-806,800
支払寄付金(事業	0	110,200	-110,200
外注費(事業	0	81,295	-81,295
サイト運営費(事業	0	270,000	-270,000
退職積立繰入金(事業	27,000	27,000	0
福利厚生費(その他事業	162,523	0	162,523
通信運搬費(その他事業	46,834	0	46,834
消耗品費(その他事業	88,400	0	88,400
印刷費(その他事業	441,440	0	441,440
リース料(その他事業	32,400	0	32,400
会場費(その他事業	292,520	0	
謝礼費(その他事業	217,828	0	217,828
外注費(その他事業	92,400	0	92,400
燃料費(その他事業	4,130	0	4,130
記念品費(その他事業	18,000	0	18,000

【呉青年会議所】

正味財産増減計算書

2014年1月1日から2014年12月31日まで

（単位：円）

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
管理費	(4,616,296)	(4,691,385)	(-75,089)
給与(管理	1,563,334	1,563,334	0
福利厚生費(管理	263,600	252,590	11,010
賃借料(管理	665,688	661,053	4,635
水道光熱費(管理	52,580	60,067	-7,487
消耗品費(管理	235,408	285,792	-50,384
通信運搬費(管理	328,612	342,556	-13,944
印刷費(管理	54,958	17,280	37,678
会議費(管理	52,920	0	52,920
渉外費(管理	170,400	147,700	22,700
清掃費(管理	64,800	64,200	600
会計監査費(管理	129,600	129,600	0
租税公課(管理	21,000	21,000	0
支払手数料(管理	43,221	55,610	-12,389
諸会費(管理	722,930	828,048	-105,118
図書費(管理	160,750	183,000	-22,250
雑費(管理	59,495	52,555	6,940
退職積立繰入額(管理	27,000	27,000	0
経常費用計	(15,118,668)	(15,732,013)	(-613,345)
評価損益等調整前当期経常増減額	【 437,134 】	【 3,207,148 】	【 -2,770,014 】
評価損益等計	(0)	(0)	(0)
当期経常増減額	【 437,134 】	【 3,207,148 】	【 -2,770,014 】
2．経常外増減の部			
（1）経常外収益			
経常外収益計	(0)	(0)	(0)
（2）経常外費用			
会費等回収不能額	0	164,045	-164,045
経常外費用計	(0)	(164,045)	(-164,045)
当期経常外損益増減額	【 0 】	【 -164,045 】	【 164,045 】
指定正味財産への振替額	(0)	(0)	(0)
指定正味財産からの振替額	(0)	(3,375,259)	(-3,375,259)
当期一般正味財産増減額	【 437,134 】	【 6,418,362 】	【 -5,981,228 】
一般正味財産期首残高	11,079,673	4,661,311	6,418,362
一般正味財産期末残高	11,516,807	11,079,673	437,134
Ⅱ．指定正味財産増減の部			
特定財産運用益			
預金利息収入	(0)	(0)	(0)
一般正味財産への振替額	(0)	(3,375,259)	(-3,375,259)
一般正味財産からの振替額	(0)	(0)	(0)
当期指定正味財産増減額	【 0 】	【 -3,375,259 】	【 3,375,259 】
指定正味財産期首残高	0	3,375,259	-3,375,259
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ．正味財産期末残高	【 11,516,807 】	【 11,079,673 】	【 437,134 】

【呉青年会議所】

正味財産増減計算書

2015年1月1日から2015年12月31日まで

（単位：円）

科目	公益目的事業等会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引消去	合計
	公1	共通	小計	他1	共通	小計			
Ⅰ．一般正味財産増減の部									
1．経常増減の部									
（1）経常収益									
①特定資産運用益	(1,572)		(1,572)	(0)		(0)	(0)		(1,572)
特定資産受取利息	1,572		1,572			0	0		1,572
②受取入会金	(1,125,000)		(1,125,000)	(0)		(0)	(0)		(1,125,000)
入会金収入	1,125,000		1,125,000			0	0		1,125,000
③受取会費	(6,925,459)		(6,925,459)	(1,396,475)		(1,396,475)	(4,413,066)		(12,735,000)
正会員会費収入	4,832,959		4,832,959			0	3,717,041		8,550,000
特別会員会費収入	2,092,500		2,092,500	1,396,475		1,396,475	696,025		4,185,000
④事業収益	(1,091,000)		(1,091,000)	(0)		(0)	(0)		(1,091,000)
登録料収入	1,091,000		1,091,000			0	0		1,091,000
⑤受取補助金等	(400,000)		(400,000)	(0)		(0)	(0)		(400,000)
受取市補助金	400,000		400,000			0	0		400,000
⑥受取寄付金	(0)		(0)	(0)		(0)	(0)		(0)
受取協賛金	0		0			0	0		0
⑦雑収入	(0)		(0)	(0)		(0)	(203,230)		(203,230)
受取利息			0			0	2,147		2,147
雑収入			0			0	201,083		201,083
経常収益計	9,543,031	0	9,543,031	1,396,475	0	1,396,475	4,616,296	0	15,555,802
（2）経常費用									0
事業費	(9,105,897)		(9,105,897)	(1,396,475)		(1,396,475)			(10,502,372)
給与（事業	1,563,335		1,563,335			0			1,563,335
福利厚生費（事業	263,600		263,600	162,523		162,523			426,123
旅費交通費（事業	523,560		523,560			0			523,560
通信運搬費（事業	296,197		296,197	46,834		46,834			343,031
消耗品費（事業	1,278,995		1,278,995	88,400		88,400			1,367,395
広告費（事業	248,400		248,400			0			248,400
印刷費（事業	358,680		358,680	441,440		441,440			800,120
リース料（事業	850,053		850,053	32,400		32,400			882,453
水道光熱費（事業	52,579		52,579			0			52,579
燃料費（事業	21,000		21,000	4,130		4,130			25,130
会場費（事業	324,520		324,520	292,520		292,520			617,040
賃借料（事業	665,688		665,688			0			665,688
保険料（事業	48,344		48,344			0			48,344
謝礼金（事業	1,769,600		1,769,600	217,828		217,828			1,987,428
記念品費（事業	499,546		499,546	18,000		18,000			517,546
保守料（事業	0		0			0			0
清掃費（事業	64,800		64,800			0			64,800
支払助成金（事業	250,000		250,000			0			250,000
支払寄付金（事業			0			0			0
外注費（事業			0	92,400		92,400			92,400
サイト運営費（事業			0			0			0
退職積立繰入額（事業	27,000		27,000			0			27,000
管理費	( )		( )	( )		( )	(4,616,296)		(4,616,296)
給与（管理							1,563,334		1,563,334
福利厚生費（管理							263,600		263,600
賃借料（管理							665,688		665,688
水道光熱費（管理							52,580		52,580
消耗品費（管理							235,408		235,408
通信運搬費（管理							328,612		328,612
印刷費（管理							54,958		54,958
会議費（管理							52,920		52,920
渉外費（管理							170,400		170,400
清掃費（管理							64,800		64,800
会計監査費（管理							129,600		129,600
租税公課（管理							21,000		21,000
支払手数料（管理							43,221		43,221
諸会費（管理							722,930		722,930
図書費（管理							160,750		160,750
雑費（管理							59,495		59,495
退職積立繰入額（管理							27,000		27,000
経常費用計	9,105,897	0	9,105,897	1,396,475	0	1,396,475	4,616,296	0	15,118,668
当期経常増減額	437,134	0	437,134	0	0	0	0	0	437,134
2．経常外増減の部									0
（1）経常外収益									0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
（2）経常外費用									0
会費等回収不能額				0					0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外損益増減額	0		0	0		0	0		0
指定正味財産からの振替			0			0			0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	437,134	0	437,134	0	0	0	0	0	437,134
一般正味財産期首残高	6,615,507		6,615,507	0		0	4,464,166		11,079,673
一般正味財産期末残高	7,052,641		7,052,641	0		0	4,464,166		11,516,807
Ⅱ．指定正味財産増減の部									0
一般正味財産への振替			0						0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			0			0	0		0
指定正味財産期末残高	0		0	0		0	0		0
Ⅲ．正味財産期末残高	7,052,641		7,052,641	0		0	4,464,166		11,516,807

財務諸表に対する注記

Ⅰ 重要な会計方針
引当金の計上基準
・退職給付引当金
事務職員に対する退職給付金の支給に備えるため、退職金支給規定に基づき期末要支給額を計上している。

（単位：円）

退職給付債務	2,094,000
退職給付引当金	2,094,000

消費税等の会計方式
・税込方式による

Ⅱ 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高
基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
【基本財産】				
基本財産預金	0	0	0	0
基本財産未収入金	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
【特定資産】				
特定資産預金	5,625,904	1,126,572		6,752,476
退職給付引当資産	2,040,000	54,000	0	2,094,000
小計	7,665,904	1,180,572	0	8,846,476
合計	7,665,904	1,180,572	0	8,846,476

Ⅲ 特定資産の財源の内訳
特定資産の財源の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
【特定資産】				
特定資産現預金	6,752,476	—	6,752,476	
退職給付引当資産	2,094,000	—	—	
合計	8,846,476	—	6,752,476	0

Ⅳ 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は次のとおりである。

（単位：円）

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期期末残高	貸借対照表上の記載区分
受取市補助金	呉市	0	400,000	400,000	0	—

Ⅴ その他
・未収会費の回収不能額の計上については、3ヶ年を超えて支払請求を通知したにもかかわらず、支払意思の表示が全く確認されないものを計上処理している。

附属明細書

Ⅰ　基本財産及び特定資産の明細
注記に記載しているため、省略する。

Ⅱ　引当金の明細　　（単位：円）

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,040,000	54,000	0	0	2,094,000

財産目録

2015年12月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
（流動資産）	現金	手元保管	運転資金として	250,936
	預金	【普通預金】		
		呉信用金庫	No456381；運転資金として	3,452,683
			No1011799(供託金)；正会員、実費弁償用	827,193
		もみじ銀行	No2248674；運転資金として	202,773
		広島銀行	No0599404；運転資金として	512,726
			〈現金・預金計〉	5,246,311
	未収金	正会員7名 OB会員13名	当会計期間内に会員が納入すべき会費・入会金の未収分である	501,500
			〈未収金計〉	501,500
流動資産合計				**5,747,811**
（固定資産） 特定資産	現金	【現金】	【周年事業等積立資産】	150,000
	預金	【普通預金】	【周年事業等積立資産】	
		呉信用金庫	周年事業の積立資産として管理している	977,476
		【定期預金】		
		呉信用金庫		5,625,000
		広島銀行	【職員退職給付引当資産】 職員退職給付の引当資産として管理している	2,094,000
			〈特定資産計〉	8,846,476
固定資産合計			*うち引当等資産*	8,846,476
資産合計				**14,594,287**
（流動負債）	未払金	共益事業	2015年度事業報告書作成費	12,000
	供託預り金	正会員	正会員個人が負担すべき登録料等の支払いのための預り金である	781,812
	預り金		社会保険料・源泉所得税・市民税	189,668
			〈未払金・供託預り金・預り金計〉	983,480
流動負債合計				**983,480**
（固定負債）	退職給付引当金	職員分	【退職給付引当金】 公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付金	2,094,000
			〈退職給付引当金計〉	2,094,000
固定負債合計				**2,094,000**
負債合計				**3,077,480**
正味財産				**11,516,807**

監査報告書

公益社団法人　呉青年会議所
理事長　　田尻　康人　　殿

2016年1月25日

公益社団法人　呉青年会議所
監事　高橋征司
監事　藤井聡

私たち監事は、2015年1月1日から2015年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備を努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決済資料等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその付属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

一、事業報告は法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果計算書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

監査報告書

公益社団法人 呉青年会議所
理事長　　田尻　康人　　殿

2016年1月25日

広島県呉市中通2丁目4番14号

武安会計事務所
監査人・税理士　武安紘二

上記、公益社団法人呉青年会議所2015年度収支決算報告書に関して本職は補助者2名をもって、公益社団法人呉青年会議所会計全般における現金の実査、預貯金の残高確認、諸帳簿の記帳確認、証憑書類、関係書類の照合確認等監査致しました結果、すべて適正・適法に処理が為されて且つ上記のとおり正当に表示されていることを認めます。